

ご挨拶

国立女性教育会館女性アーカイブセンターは、2008年の開設以来、女性教育・女性運動・女性政策などに関わる資料を収集・整理・保存・提供しています。

10周年を迎える今年は「女性の歩みを受け継ぐ」と題して、今までアーカイブセンターで受け入れてきた主な資料の展示を行います。

アーカイブセンターの記録を手にとると、かつて女性たちが考え、語り、行動してきた軌跡が、今の女性たちの動きにつながっていることが見えてきます。この展示で、女性たちが受け継いできた時代の流れを感じ取っていただければ幸いです。

また、今回は政府による「明治150年」関連施策として、ミニ展示「明治時代の女子教育」を同時開催します。国立女性教育会館女性教育情報センター（図書館）所蔵資料とともに、名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリと東京都立中央図書館の所蔵資料を展示します。江戸時代の日本の教えと明治維新後に入ってきた西洋の教えが共存していた時代の様子をご覧ください。

2018年1月

独立行政法人国立女性教育会館

理事長 内海房子

56年分の家計簿から見た社会

～中村喜美子(1929-)～

横浜生協（現・ユーコープ）の組合員たちと手を組んで、オリジナル家計簿の作成・全国生計費調査・商品開発などに取り組んだ主婦・中村喜美子がつけ続けている家計簿のうち、NVECでは1954年から2009年までの56年分を所蔵しています。

今にどうつながっている…？

「生協の家計簿」は1972（昭和47）年から現在まで毎年発売されています。全国生計費調査も多くの世帯の家計データを集計して数十年続いています。各家庭の収入や支出だけでなく、日本の経済の変化をも示す貴重な資料です。



中村喜美子、85歳のとき
(2014年)

月	予算の残り	22日		23日		24日	
		摘要	金額	摘要	金額	摘要	金額
繰越	4916						
取入							
副食費	507	割当額	割当額	割当額			
	葱 25	26	場	30	大根	12	
	人参	14	芋	20	あじ物	12	
	豆	30			砂糖	24	
計							
差引							
主食類	120						
調味品	14						
嗜好品	24						

1955年1月22～24日の家計簿
人参13円、肉（豚）30円…

日	22日(日)		23日(月)		24日(火)		25日(水)	
	摘要	金額	摘要	金額	摘要	金額	摘要	金額
取入								
貯金								
貯蓄								
非消費支出								
米・麦								
肉類								
魚類								
卵類								
豆・豆製品								
野菜								
乾物・海草								
加工食品								
調味料								
嗜好品								
酒・飲料								
雑費								
住家費・地代								

1995年12月22～25日の家計簿
肉も野菜も40年前より種類が多い

女性起業家のパイオニア

このえとしこ
～九重年支子(1904-2002)～

1939年に簡易手織機を発明。実用新案登録の日に夫に先立たれましたが、子育てをしながら手織機の普及に努めました。

第二次世界大戦後は国内で会社を立ち上げ、婦人発明家協会の創設に関わるとともに、アメリカやフランスなど様々な国で特許を取り、展覧会を開きました。

今にどうつながっている…？

戦後間もない頃の日本では、自ら起業する女性は非常に珍しく、特別な目的がないと男女問わず海外に行くこともできませんでした。

現在は、起業したり海外で働いたりする日本人女性が増えています。



卓上手織機を使う九重年支子



雑誌記事「九重織フランスへ渡る」
(1953年)

女性たちの歩んだ記録

～「全国婦人新聞」取材写真～

全国婦人新聞は、1970年から2006年まで全国婦人新聞社が刊行していた専門紙です（1995年「女性ニュース」に改題）。女性による女性のための初の全国版新聞であり、国内外の女性の活動を発信しました。

今にどうつながっている…？

以前は女性が情報を発信する手段は限られていましたが、現在はブログやSNSなどインターネットを通じて誰でも自由に情報を得たり発信したりできるようになりました。



国連婦人の十年中間年日本大会
(1980年)



大会後、東京駅までデモ。写真中央は市川房枝
(1980年)

Women's Archives Center

日本各地で男女の平等な権利実現に向けて、国内外で活発に活動した有名無名を問わず様々な個人・団体が集う姿を見ることができます。NVEC では 1979 年から 2006 年までの写真約 3 万 5000 点を所蔵しています。



効力のある男女雇用機会均等法を求める集会
(1984 年)



家庭科の男女共修を進める集会
(1996 年)



男女共同参画社会基本法に関するシンポジウム
(1999 年)



男女の均等な労働条件を求める運動
(2005 年)

男女平等めざし白熱の世界会議

～第4回世界女性会議（北京会議）資料～

国際連合は女性の地位向上を目指し、1975年を国際婦人年と定め、同年に第1回世界女性会議をメキシコで開催しました。1995年の第4回世界女性会議（通称・北京会議）では、平等、開発、平和を目標に「北京行動綱領」が採択され、世界の女性たちが直面している課題解決のための目標と行動が示されました。

今にどうつながっている…？

様々な国で法整備が進められていますが、男女間の格差はまだ多くあります。国連は、2030年までに解決すべき課題として、ジェンダー平等を掲げています。



第4回世界女性会議 開会式セレモニー 平和の灯
(1995年)



第4回世界女性会議 政府間会議
(1995年)

Women's Archives Center

第4回世界女性会議の参加者は、191か国約5万人と20世紀最大規模で、日本各地からも約5000人が参加しました。日本の現状を世界へ発信し、世界中の人たちと男女平等の推進についての議論や交流が行われました。

日本の女性たちによる NGO フォーラム ワークショップ (1995年)



「統治と政治」
市川房枝記念会主催



「政治における日本女性」
全国フェミニスト議員連盟主催



「移住女性の支援について」
おんなのスペース“おん”主催



「人権と法的権利」
堺市女性団体連絡協議会主催

台所から社会を変えた運動家

奥むめお(1895-1997)

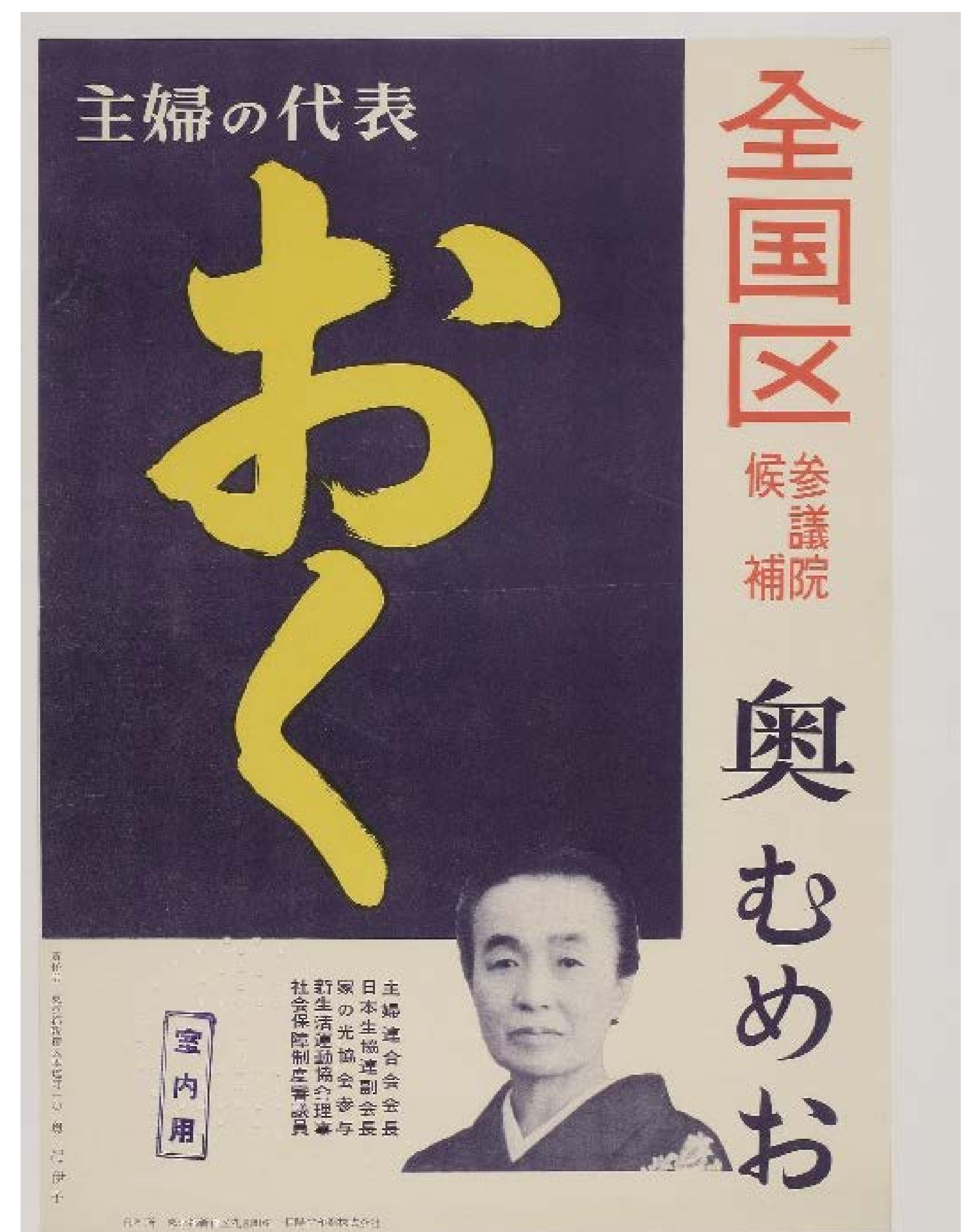
戦後初の参議院選挙(1947年)で、多数の女性の支持を得て出馬。「台所と政治を結び
う」と訴え、他の女性議員9名と共に当選しました。国会では消費者代表という自負
を持って臨みました。

今にどうつながっている…?

日本の女性は1945年まで参政権がありませんでした。参政権を得てから、70年以
上が経過しましたが、女性議員はまだまだ少ないのが現状です。



「主婦の団結」を呼びかける



全国区参議院候補ポスター

Women's Archives Center

奥は議員活動の傍ら、1948年に主婦連合会を結成。暮らしの問題を解決するため、消費者運動を展開しました。

生活の苦情を訴える場所が必要だと感じ、1962年には国会で、消費者行政を専門とする生活省の設置を要望。2009年に消費者庁が設置されました。



参議院予算委員会で生活省設置を要望する奥むめお

生活の安心・安全のための活動（かんづめ教室）



おしゃもじに「ヤミ米追放」のスローガンを
書き込む奥むめお

国会への請願デモ
かっぽう着におしゃもじは主婦連合会のシンボル

先生も生徒も自分たち

～稲取婦人学級～

文部省は 1954 年から 1956 年にかけて、静岡県稲取町で、婦人学級を実施しました。女性たちが普段の生活の課題をよりよくしていくための学習を目的とし、先生による一斉講義ではない新しい学習方法で、みんなで考える話し合いを重視しました。

今にどうつながっている…？

日本全国に約 370 施設ある男女共同参画センターや女性センターが、男女共同参画社会を目指し、多様な学びの場を提供しています。



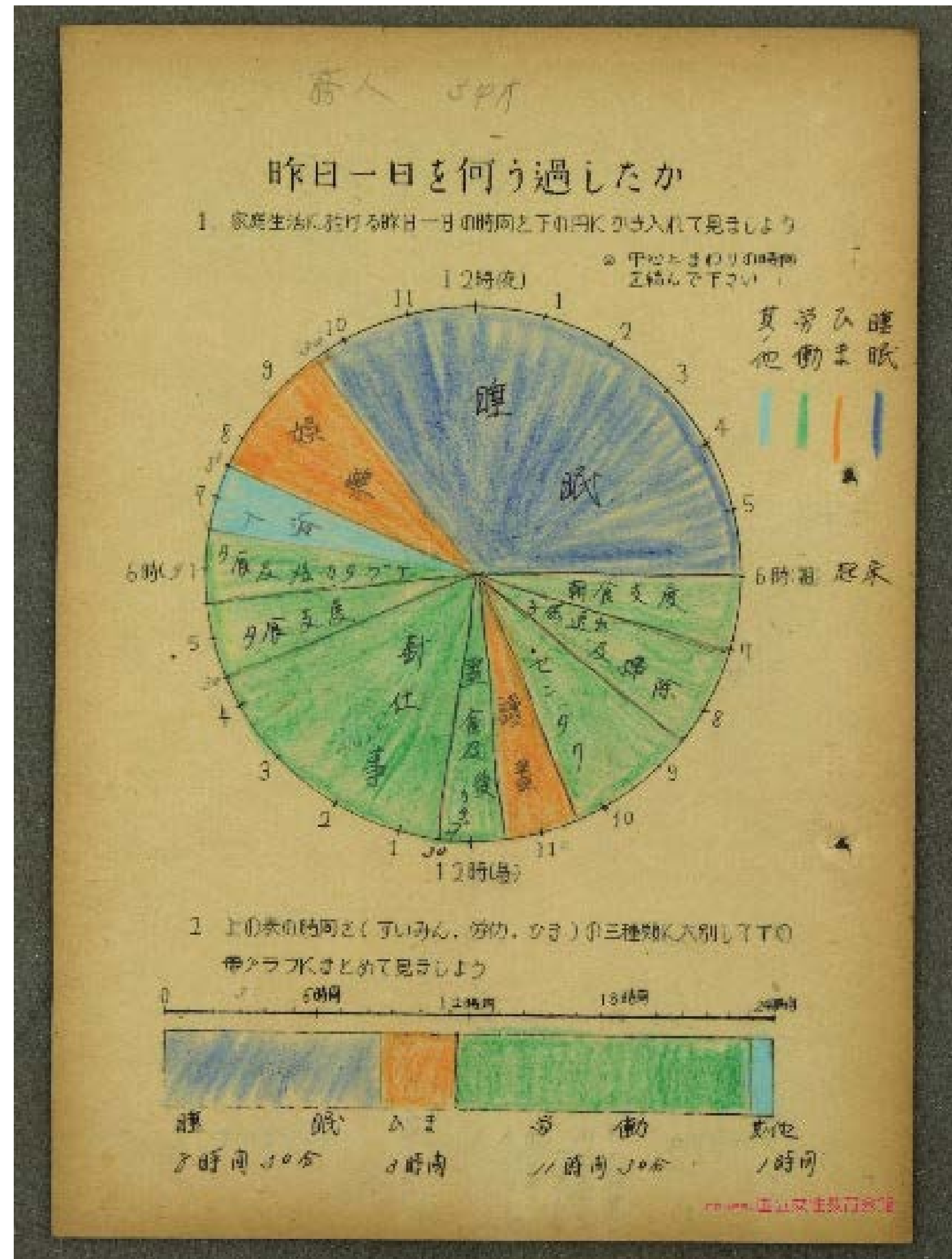
まとめの話し合い風景
(1956 年)



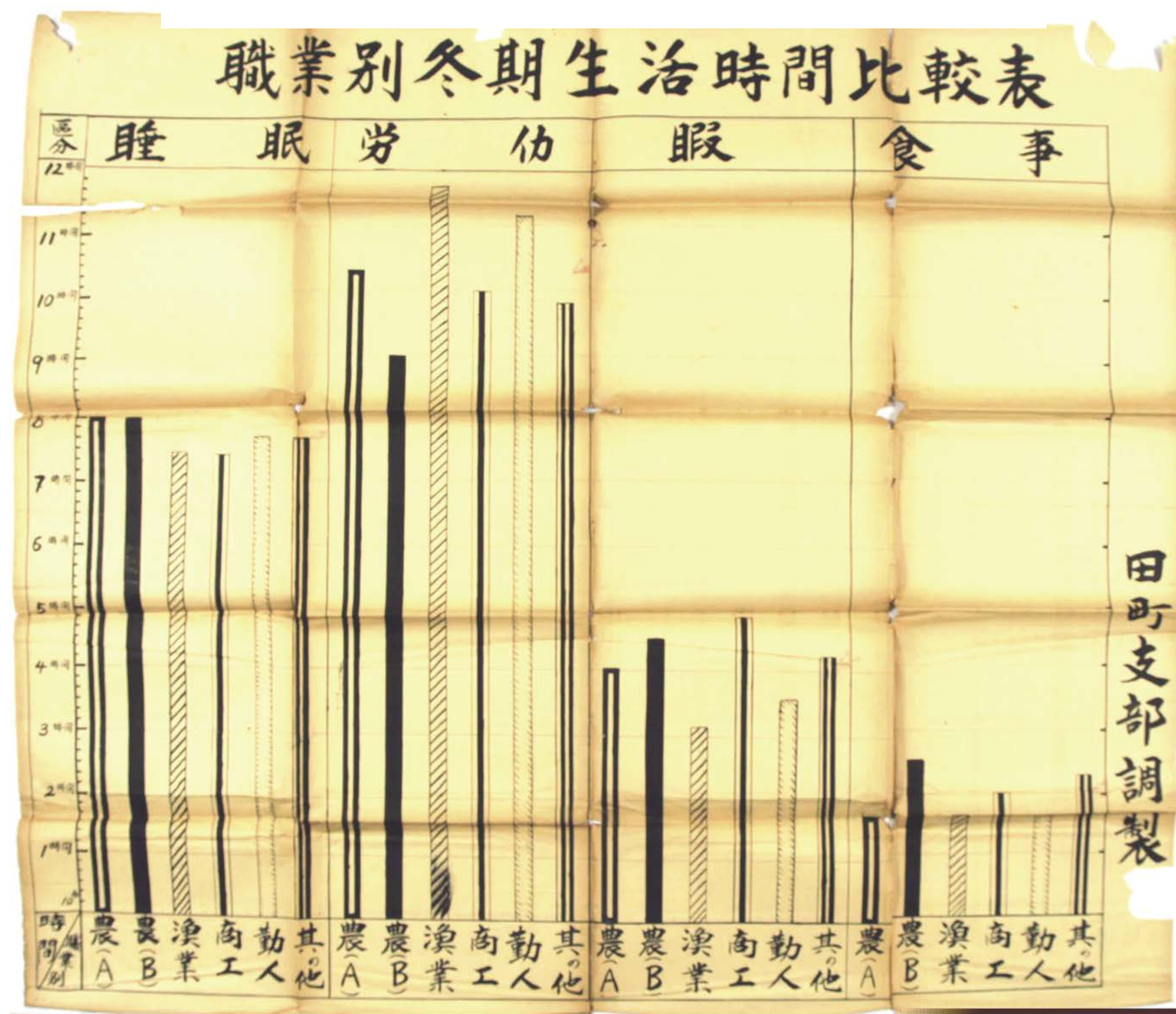
1955 年頃の稲取町

稲取婦人学級の参加者は 30 代から 40 代の主婦たちが最多。

地域によっては、4km を超える山道を歩いて通う人も。



34 歳女性の 1 日をグラフにしたもの
(1955 年)



1 日を「睡眠」「労働」「ひま」「食事」の 4 種類で表したグラフ
(1955 年)